

言う、と、そうかい、じゃあね、と新羅が頷いてひらひらと手を振る。

「帝人君のためにも、暴走はしないようにしなよ」

部屋から出るときに、そんな言葉が投げかけられた。何を暴走するんだ、と思ったが、聞き返すのも面倒でそのまま歩き出す。その言葉を思い知るのは、それから数時間後のことだった。